

授業科目名： 獣医衛生科学特論 A（東京農工大 学）		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1 年次後期	授業形態： 講義科目		開講形態： 主指導教員によるゼミナ ル形式
授業のテーマ及び到達目標： 講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がり と深さを持つ知識と技術を教授し、博士論文の作成を支援する。			
授業の概要： 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する主 指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置。			
授業計画： 獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門の研究分野について、ゼミナール形式で討議を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の文献収集・調査方法の指導、研究の進捗 状況・成果に対する質疑応答及び博士論文のプロポーザル作成指導を行う。このことを通じて、博士論 文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する知識を養う。 ①学生の研究テーマに関する内容を講義し、必要に応じて教員はチュートリアル計画を立案する。 ②講義や演習を補完するような課題文献を指定し、それを読みディスカッションのうえにレポートにま とめるなどのアドバイスと指導を行う。 ③博士論文作成に必要な情報やデータの収集を指導する。 ④学会発表等での発表に対する準備を指導する。 ⑤研究プロポーザルの作成を指導する。 ⑥博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 ⑦博士論文の作成を指導する。 （白井 淳資） 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 （竹原 一明） バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 （永田典代） 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 （藤川 浩） 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 （水谷 哲也）			

家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 (李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学 (谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断 (林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態 (古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御 (石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析 (大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫
テキスト：特になし
参考書・参考資料等：特になし
学生に対する評価：受講状況と態度、ならびに講義内容の理解度などにより総合的に評価する。